

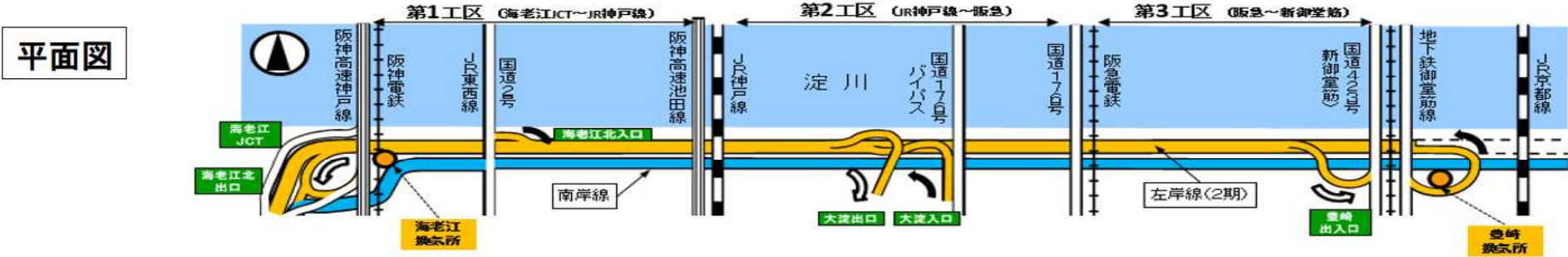
令和 6 年度第 2 回（第15回） 大阪市大規模事業リスク管理会議

議題 事業リスク管理の取組状況

- ・ 淀川左岸線（2 期）事業

1. 事業概要

- 目的：政府の都市再生プロジェクトに位置付けられた「大阪都市再生環状道路」の一区間を構成し、都心北部と臨海部とを連絡する地域高規格道路（自動車専用道路）であり、市中心部の渋滞緩和や市街地環境の改善を図るとともに、近畿圏の広域道路ネットワークの強化を図る。
- 総事業費：2, 4 5 7 億円（うち市費負担：1, 1 0 6 億円）
- 事業期間：平成18年度～令和14年度（予定）
- 事業延長：約4. 4 k m（うち街路事業：約4. 3 k m）



2. 事業の進捗状況（令和5年度末時点）

- 用地取得率：99. 9 % * 面積ベースで算出
- 事業進捗率：48. 0 % * 事業費ベースで算出

項目 \ 年度	H18	~H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14*	備考
用地取得																		
準備工事																		仮堤防工事 支障物撤去工事 埋設物移設工事 等
本体工事																		トンネル工事 橋梁工事
設備工事																		設備工事 舗装工事 等

* トンネル工事等が順調に進捗した場合



工事状況写真-1
海老江JCT部



工事状況写真-2
海老江JCT～国道2号

(R6.10撮影)

3. 事業リスクの管理体制

（目的）

建設局所管のインフラ整備事業等の実施に際しては、本市財政への負担となる事業費の増加や工期延期による事業完了の遅れなど、市民生活に影響を与えかねないリスクが潜在していることから、これまでの各担当による取組みに加え、**局全体で横断的なリスクマネジメント**に取り組む。

（体制）

内部統制責任者である**局長をトップ**とする内部統制体制に**『事業リスク管理部会』を令和3年5月に設置**。各事業におけるリスクの洗い出し、評価、対応策の検討等をマネジメントする。

（効果）

- ・ 潜在リスクの早期把握
- ・ リスク発生の未然防止
- ・ リスク発生時の適切な対応

4. モニタリング状況等

○ 各想定リスクの状況の変化

- ・ 国費配分の不足による市費負担分の増加
- ・ 事業期間の延伸による事業費増加
- ・ 地盤変状の対応による事業費増加
- ・ 地中障害物撤去の対応による事業費増加
- ・ 社会情勢の変化による事業費増加

前回リスク評価*から**変化なし**
（市費負担の増加や評価を見直す必要なし）

* 令和6年度第1回（第14回）大規模事業リスク管理会議
（令和6年10月21日開催）

○ 昨今の物価上昇についてのモニタリング状況

- ・ 物価上昇率については、令和4年度の直近5年間（平成28年度～令和3年度）の物価上昇率をもとに年8%と想定している。
- ・ 現時点の直近5年間（平成30年度～令和5年度）の物価上昇率では、7%であったため、概ね想定している上昇率内となっている。